

憲法9条まもり、くらし応援の政治へ

大門みきし氏の横顔

参議院選挙予定候補者

中学生のはじめの頃、「問題児だった」と語る大門さん。毎日、「うどん食いにいこか」と連れ出された植山先生の「熱心にコン負けして」立ち直り、高校へ進学。「男はなあ、意気に感じる心を忘れたらあかんで」との言葉を胸に刻みます。その後、上京。「しんぶん赤旗」に出会い、建設労働運動に没頭。国政の候補者に。現在4期目。他党も認める経済論戦の第一人者。特に歴代首相、財務相を相手にした経済論戦には定評があります。



のアベノミクスも追及の急先鋒を果たしました。新自由主義からの転換は、自公政治の大本を変えていくことです。参院選に何としても勝利し、憲法9条を守り抜くとともに、今度こそ新自由主義を終わらせる転機にしたいと決意しています。」

「日本共産党近畿ブロック政策宣伝資料より一部を抜粋掲載」

新自由主義 終わらせる転機に

「私は2001年の小泉・竹中『構造改革』以来、弱肉強食の新自由主義勢力と正面から対決してきました。安倍元首相

大雪に覆われた甲良の里。一面の白銀の世界。冬景色のすばらしさに見惚れている場合ではありませんでした。26日未明から降り出した雪は、記録的な豪雪。災害級となりました。国道8号、307号が一部通行止めに。県道、町道、生活道路の除雪体制の弱点が露呈し、町には苦情が殺到しました。

コロナ感染が拡大して2年。オミクロン株の感染拡大の危険が指摘されています。安倍、菅、岸田と首相の顔は変わりましたが、科学の軽視、医療費の値上げ、病床の削減計画推進、消費税の引き下げに背を向けるなど、政治の中心は国民の苦難など眼中にないようです。

国民の命を守る予算を削る一方で、岸田政権は台湾有事を想定して、大軍拡には熱心で昨年末成立した補正予算と合わせ今年度の軍事予算は6兆円を突破します。憲法理念を踏みじり、改憲の中心は、戦争放棄を定めた9条の空文化を狙っています。

先の衆議院選挙で改憲勢力が3分の2以上を占めた国会の力関係のもとで、今年たたかわれる参議院選挙は立憲野党の結束で、自民・公明・維新などの改憲勢力を

新年おめでとう
ございます

少数に抑え込まねばなりません。まさに天下分け目のたたかい」となり

いのち・くらし

最優先の町政を

野瀬町政は、財政難を理由に「新たな個人施策は当分の間行わない」と表明し、町民のくらし、営業の応援には後ろ向きの姿勢を示しています。

その中でも地方創生臨時交付金を活用した追加給付や水道基本料金の12カ月免除、生活道路の補修など議会議員有志の提案を受け、不十分なながらも実現しました。PCR検査の補助は県下でも画期的でした。これは、PCR検査の補助を含む修正予算を議員提案したためです。

しかし、新築資金をはじめ、各種の滞納金を抱え、職員の度重なる不祥事、税の着服事件にかかわる不能欠損の問題など、課題山積です。

立憲主義を取りもどし、何より命を守る政治めざしがんばります。

本年もご支援のほどよろしく願います。

甲良民報

2022年1月2日 841号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在土373（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご相談・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123

©日本共産党の見解を紹介いたします。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】